

サクラひろば

令和4年7月19日発行
第10号

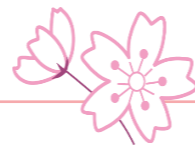
学校が育てようとする子どもの姿を、保護者や地域の皆さんと共有し、ともに力をあわせて課題を解決していこうとする場である「学校運営協議会」を設置した学校が、コミュニティ・スクール(CS)です。少子化、人口減と学校や子どもたちを取り巻く環境が変わり、社会全体で子どもを育てる取り組みの重要性が増しています。始まったばかりの「学校運営協議会」が、学校、家庭、地域で子どもを育てるための仕組みとして定着していくよう、一緒に育てていきましょう。今年度の「サクラひろば」では、学校運営協議会の様子をレポートしていきます。

CSレポート No.1 《コミュニティ・スクールがはじまりました》

6月29日(水)に出席者18名で、令和4年度第1回学校運営協議会を宮古一中で開催。会議に先立って、委員全員で授業参観を行った後、今年度の学校経営の方針や、まなびフェストの説明を各学校長から受け、承認。その後、小グループでの意見交流(熟議)がありました。「児童生徒の健全育成のために地域や学校が協働してどんな活動ができるか」をテーマに盛り上がった意見交流では、「地域の方々が参加できる機会を確保する」「スマホやSNSなどの指導を小中



合同で」「9年計画で小中で育てたい子どもの共通認識が必要」など、たくさんの意見がでました。地域と学校のより良い連携・協働のカタチを作り出すためのスタート。今後も、地域の皆さんと協力して発展する「熟議」を積み重ねていきたいです。



～山口小学校～

体力テストの計測をお手伝い

6月1日(水)に、1、2年生の体力テストを行いました。例年、反復横飛びや上体起こしの計測に、ボランティアサポートをお願いしています。今年も9名の保護者がサポートしてくださいました。子どもたちのがんばりを身近に見ながら、きめ細かにお手伝いをしていただきました。



黒森神楽を披露

5月21日(土)に、かけっこフェスティバル(短縮版運動会)を行いました。走ることを中心としたプログラムが行われた中で唯一の表現活動として、黒森神楽を披露しました。各学年ごとに少しずつ踊りを覚え、5年生と6年生は衣装を身につけて踊ります。普通の着物の着付けとは異なる衣装の着付けには、毎年保護者の皆さんが苦労しています。そこで、地域の方や卒業生の保護者などに着付けの指導や当日の着付けをお手伝いしていただいています。気温が上がり、汗にまみれた衣装の洗濯や管理も、地域の方が中心となって行ってくださいました。長年の積み重ねやつながりがあって、地域の文化が継承されていくことを感じました。

山口小学校地域学校協働本部地域学校協働活動推進員 佐々木 良恵

～第一中学校～

「小さなSDGsプロジェクト」実施中

今年度の生徒会活動は「地域と連携・協働したボランティア活動」に、より一層、力が入っています。その中のひとつ、「小さなSDGsプロジェクト」はラベンダー編とキャンドル編から構成された「みずき会(中央通商店街)」の皆さんと一緒に、年間を通じて取り組む活動です。7月5日、ラベンダーの刈り取りを行いました。刈り取ったラベンダーは、「みずき会」の皆さんとサシェ(香り袋)を作成し、クリスマスの時に活用する予定です。



第一中学校地域学校協働本部
地域学校協働活動推進員 金野 侑

～宮古小学校～

七夕さまに響く子供たちの歌声・楽器の音色

7月2日、「昭和通りおかみさんおもてなしたい」主催の七夕コンサートが駅前広場で開催され、合唱団とブラスバンドクラブが参加し、歌と楽器演奏をお届けしました。地域の皆さんの前での発表は2年ぶり。緊張した様子の子供たちでしたが、心を込めた精いっぱい発表にたくさんの拍手をいただき、会場が一体となって楽しむ音楽の素晴らしさを実感するひとときとなりました。



本の世界へようこそ(絵本と音楽の共演、仕掛け窓装飾作り)

宮小恒例の図書ボランティア「おひさま」によるおはなし会。今年は読み聞かせにエレクトーン(電子オルゴール)の演奏が加わり、子供たちは絵本の世界に引き込まれていました。また、図書室の窓には、初就航のうみねこ丸と、三陸鉄道をデザインしたオリジナル作品が登場。窓を開閉すると動物たちが乗り降りする仕掛けに、図書室をおとずれる子供たちの楽しみが増えています。



宮古小学校地域学校協働本部
地域学校協働活動推進員 大村 光代



第11号 2022年12月発行予定

編集：第一中学校地域学校協働本部 (0193-62-4209)
宮古小学校地域学校協働本部 (0193-62-2009)
山口小学校地域学校協働本部 (0193-62-2723)